

2014年度 関西学生女子ヨット選手権大会

期 日 : 平成26年(2014年)6月27日(金)～29日(日)
 共同主催 : 関西学生ヨット連盟、兵庫県セーリング連盟
 開催地 : 兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-16-1)
 協 力 : 新西宮ヨットハーバー株式会社

帆走指示書

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 『関西学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイブ級学連申し合わせ事項(ただし、スナイブ級学連申し合わせ事項I.2は適用しない)』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 規則40『個人用浮揚用具』を次のように変更する。
『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は規則第4章前文を変更している。』
- 1.4 レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、帆走指示書を優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日のスタート予定時刻の60分前までに掲示される。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の19:00までに掲示する。

4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、大会陸上本部前に掲揚する。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、規則レース信号『回答旗』中の『1分』を『50分以降』と置き換える。艇は回答旗が降下されるまで、ハーバーを離れてはならない。

5. レース日程

5.1 レース日程とレース数

予定されるレース日程とレース数は次の通りとする。

日 付	国際470級	国際スナイブ級
6月28日(土)	4レース	4レース
6月29日(日)	4レース	4レース

- 5.2 6月28日(土)は5レースを行うことがある。
- 5.3 それぞれの日の最初の国際470級のレースの予告信号の予定時刻は09:55とし、国際スナイブ級はこれに続く。
- 5.4 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分前に、音響信号とともに、オレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。ただし、風速及びフリートの状況により順番を変更することもある。
- 5.5 6月29日(日)は15:00より後に予告信号を発しない。ただし、国際470級の予告信号を発した場合には、ゼネラル・リコールがあった場合の新しいスタートの予告信号及びこれに続く国際スナイブ級の予告信号は発する。
- 5.6 表彰式は、平成26年8月17日(日)関西学生夏季ヨット選手権大会の最終レース終了後に行う。

6. クラス旗

クラス旗は次の通りとする。

クラス	旗
国際470級	470旗
国際スナイブ級	スナイブ旗

7. レース・エリア

添付図Aに、レース・エリアの位置を示す。

8. コース

- 8.1 添付図Dの見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇(本部船)に最初のレグのおよそのコンパス方位を掲示する。

9. マーク

- 9.1 マーク1、2、3は、オレンジ色の三角錐ブイとする。
- 9.2 指示11に規定するマークは黄色の円柱形のブイである。ただし、マークの数字は無視するものとする。
- 9.3 スタート・マークは、スターボードの端に位置するレース委員会信号艇(本部船)とポートの端に位置する黄色の円筒形のブイとする。
- 9.4 フィニッシュ・マークは、ポートの端に位置する青色旗を掲揚したレース委員会艇とスターボードの端にあるオレンジ色の円筒形ブイとする。

10. スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールとポートの端のスタート・マークのコース側の間とする。
- 10.2 他のクラスのレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていないクラスの艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。
- 10.3 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問無しに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。この項は規則A4を変更している。
- 10.4 規則30.3の『セール番号』は、『セール番号』又は『エントリー番号』と置換える。

11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し、実行できれば、直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に青色旗を掲揚しているポールと、スターボードの端にあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

13. ペナルティー方式

- 13.1 付則Pを適用する。ただし、付則Pの文中の『セール番号』は、『エントリー番号』と置換える。これは付則P1を変更している。
- 13.2 規則44.1に基づきペナルティーを履行した艇は、抗議締切時間内に陸上本部において『ペナルティー認識書』を完成させなければならない。
- 13.3 指示17.2に違反した艇に対し、レース委員会は、審問なしに得点ペナルティーを課することができる。このペナルティーが課された艇は、「PTP」と記録され、ペナルティーが課せられなかった場合の得点に3点を加えた得点を直近のレースの得点とする。この艇のレースの得点は、「DNF」より悪い得点を与えられることはない。このペナルティーが課されるべきレースが成立せず帰着した場合は、ペナルティーは課されない。これは規則63.1及び規則A5を変更している。
- 13.4 プロテスト委員会は指示10.2、17、18、19、20、21、24、レース公示、クラス規則、規則77及び付則Gの規則違反に対するペナルティーを失格より軽減することができる。

14. タイム・リミットと目標時間

- 14.1 タイム・リミットと目標時間は次の通りとする。

クラス	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	目標時間
国際470級	60分	20分	40分
国際スナイプ級	60分	20分	40分

- 14.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。この項は規則62.1(a)を変更している。
- 14.3 先頭艇がコースを帆走して、フィニッシュ後15分以内にフィニッシュしない艇は、審問無しに『DNF』と記録される。この項は規則35、A4及びA5を変更している。

15. 抗議と救済要求

- 15.1 抗議書は、陸上本部で入手できる。抗議、救済及び審問の再開の要求は、適切な時間内に陸上本部に提出されなければならない。
- 15.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時間は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。同じ抗議締切時間をレース委員会とプロテスト委員会がレース・エリアで目撃したインシデントについての

抗議に適用する。レース委員会またはプロテスト委員会によるその他の抗議は、その委員会が抗議の情報を受けた後60分とする。この項は規則6 1. 3及び6 2. 2を変更している。

- 1 5. 3 救済要求の提出期限は、抗議締切時間以内または当該インシデントから60分以内のいずれか遅い方とする。この項は規則6 2. 2を変更している。
- 1 5. 4 抗議の当事者であるかまたは証人として名前が挙げられている審問に関わっている競技者に通告する為に、抗議締切時刻後30分以内に通告を掲示する。
- 1 5. 5 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を規則6 1. 1 (b)に基づき伝える為に掲示する。
- 1 5. 6 指示1 3. 1に基づき規則4 2違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、抗議締切時間前に掲示される。
- 1 5. 7 指示1 0. 2、1 3. 2、1 7、1 8、1 9、2 1及び2 2の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則6 0. 1 (a)を変更している。
- 1 5. 8 審問の再開の要求は、通告後30分以内に提出しなければならない。この項は規則6 6を変更している。

1 6. 得点

- 1 6. 1 大会が成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 1 6. 2 艇の得点は、完了したレースが4レース以下の場合にはレース得点の合計とし、5レース以上完了した場合は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 1 6. 3 掲示されたレース又はシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして訂正を要請する場合、艇は陸上本部に用意されている「得点照会要請書」に所定の事項を記入し要請しなければならない。

1 7. 安全規定

- 1 7. 1 競技者は衣類または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、出艇してから帰着するまでの間、個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用していなければならない。これは、規則第4章前文及び規則4 0を変更している。
- 1 7. 2 出艇申告と帰着申告
 - (1) 当日のレースに出走しようとする艇は、最初のレースのスタート予告信号の50分前までに陸上本部に用意した書式にヘルムスマン自らがサインをして出艇しなければならない。
 - (2) 陸上に帰着した艇は、その日の抗議締切時間内に大会本部に用意した書式にヘルムスマン自らがサインをしなければならない。レース委員会は、正当な理由がある場合には、その時間を延長しなければならない。
- 1 7. 3 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会(レース委員会艇)に伝えなければならない。海上での通知が不可能で、陸上への帰着が必要な場合は、帰着後速やかに陸上本部に伝えなければならない。
- 1 7. 4 レース委員会は、危険な状態にあると判断した競技者または艇を救助する。救助された場合、その艇はリタイアしなければならない。

1 8. 乗員の交代と装備の交換

- 1 8. 1 乗員の交代は、レース委員会の事前承認無しでは許可されない。交代の要請は、最初の妥当な機会にレース委員会(レース委員会艇)に行わなければならない。
- 1 8. 2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認無しでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、レース委員会(レース委員会艇)に行わなければならない。

1 9. 装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則、レース公示及び帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。海上では、艇は、レース委員会により検査の為に、直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

2 0. 運営艇

レース委員会艇には、白旗を掲揚している。

2 1. 支援艇・応援艇

- 2 1. 1 支援艇・応援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する識別旗を目立つように掲揚しなければならない。
- 2 1. 2 支援艇・応援艇は、艇及び運営艇を妨げてはならない。また、レース中の艇に引き波の影響を与えてはならない。
- 2 1. 3 監督、コーチ、その他の支援要員等、その艇の関係者の乗艇している支援艇・応援艇は、指示2 1. 2に加えて、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から、すべての艇がフィニッシュするか若しくはリタイアするか又はレース委員会が延期、ゼネラル・リコール若しくは中止の信号を発するまで、指示2 1. 5に基づくレース委員会の要請が無い限り、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。【添付図E】参照
- 2 1. 4 支援艇・応援艇は、レース委員会及びプロテスト委員会の無線通信を傍受してはならない。また、レース艇の無線機・携帯電話の積み込みはクラス規則により禁止されている。

- 2 1. 5 レース委員会艇に『数字旗 8』が掲揚された場合、『支援艇・応援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。』ことを意味する。この信号はレース中であっても発せられることがある。この場合、指示 2 1. 2、2 1. 3 及び 2 1. 4 は適用しない。
- 2 1. 6 レース委員会又はプロテスト委員会は、支援艇・応援艇の指示 2 1. 1、2 1. 2、2 1. 3、2 1. 4、2 1. 5 の違反を申立てて、その支援艇・応援艇の関与する艇を抗議することができる。プロテスト委員会は、審問においてその支援艇・応援艇が違反したと判定した場合、その支援艇・応援艇の関与する艇にペナルティーを課すことができる。これは、規則 6 4. 1 を変更している。違反を申立てられた支援艇・応援艇の代表者は、プロテスト委員会から要請された場合、この指示に基づく審問に出席しなければならない。

2 2. ごみ処理

艇は、ごみを支援艇・応援艇または大会運営艇に渡してもよい。

2 3. 賞

- 2 3. 1 クラス別の第 1 位～第 3 位の艇に賞状を、また第 1 位の艇に賞品を与える。ただし、出走数が 3 艇以下の場合には、当該クラスの第 1 位の艇に賞状及び賞品を与える。
- 2 3. 2 クラス別の上位の艇を 2 0 1 4 年度全日本学生女子ヨット選手権大会に推薦する。

2 4. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則 4 「レースすることの決定」参照。主催団体は、レガッタ前、レガッタ中又はレガッタ後と関連してこうむった物的損傷又は人身傷害若しくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

以 上

【添付図 A】 レース・エリア



【添付図 B】 所属大学を表す大学名（3文字）シールの貼り付け位置

•貼り付け位置

30mm

船尾側

1800mm

船首側

帆 走 大

*若干の誤差は無視する。

•大学名の文字の大きさ

180mm 180mm 180mm

180mm

帆 走 大

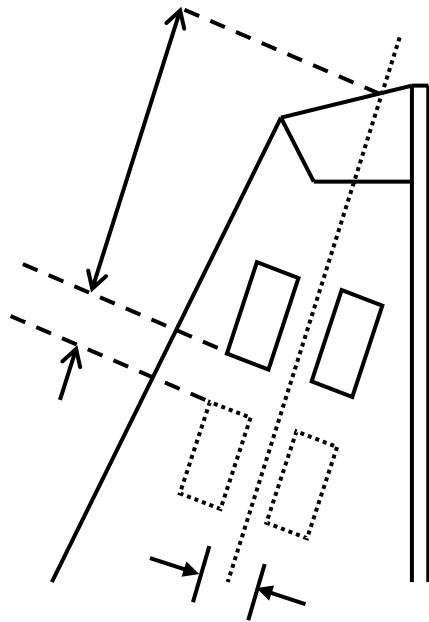
40mm 40mm

字体：ゴシック
色：黒
太さ：25mm

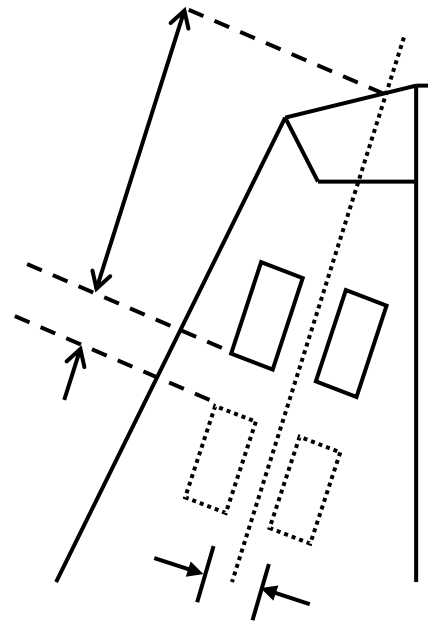
文字の大きさは180mm以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。
また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可能とする。
(注) 学連申し合わせ事項を参照下さい。

【添付図 C】 エントリー番号 貼り付け位置

<470級>

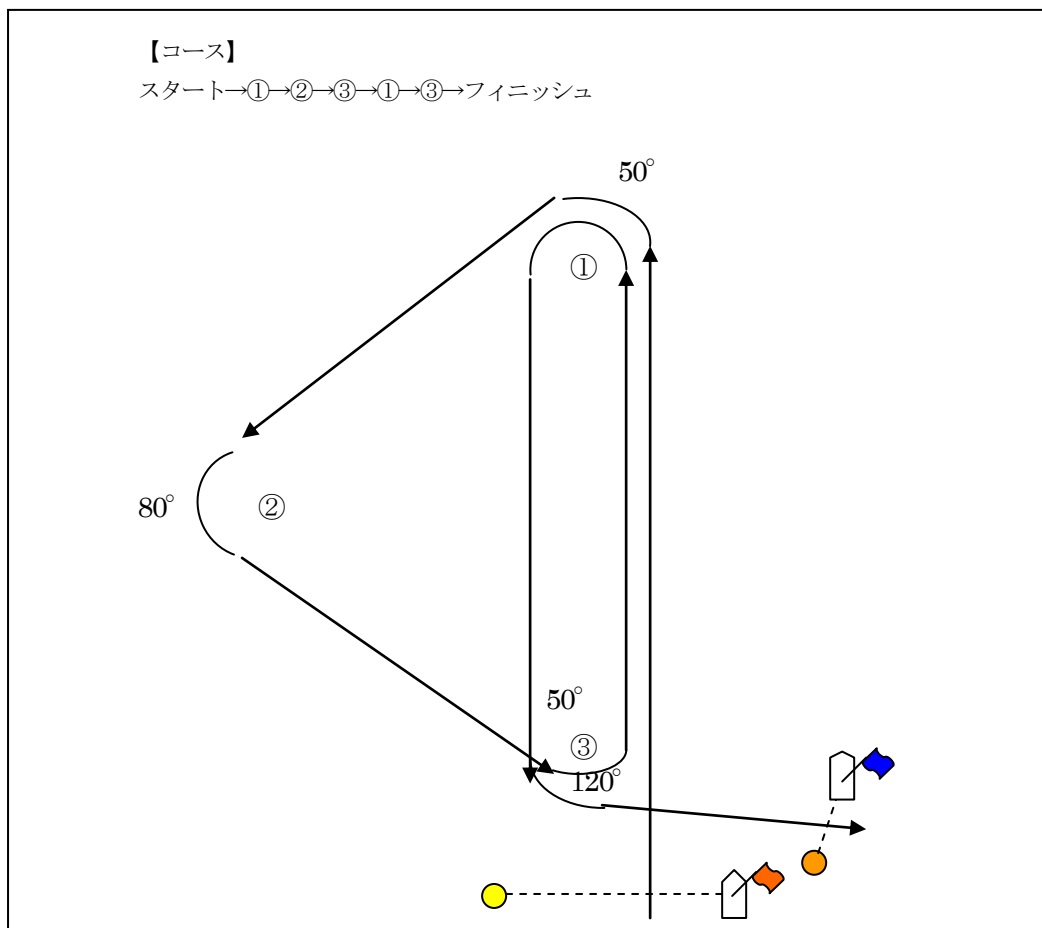


<スナイプ級>



- ・ スタボー側とポート側は、重ならないように貼る事。
- ・ 1桁・2桁の場合は、右に寄せず真ん中に貼る事。

【添付図 D】



【添付図 E】 支援艇のレース中の禁止区域

支援艇のレース中の進入禁止エリアは、下図の点線内のエリアとする。
マーク、スタート・エリア、フィニッシュ・エリアから100m拡張する。
また、スタート時、フィニッシュ時は、スタート・ライン、フィニッシュ・ラインの延長線上にはいけ
ない。

